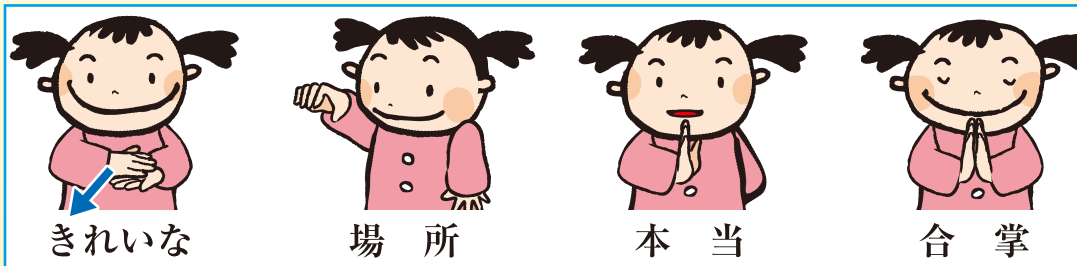


手話表現パンフレット

浄土真宗の救いのよろこび

原文… じょう ど しんしゅう
浄土真宗の

表現…



動作…

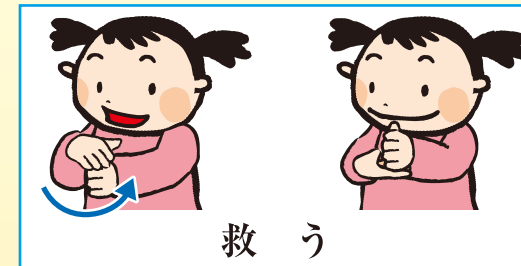
左手掌を右手掌でなでながら素早く右方向へ動かす

やや右上で

立てた右手の人差指側を顎にあてる

胸の前で両手を合わせる

すく
救いのよろこび



右手を左手親指の甲側から小指側へ回し入れ、左手を押し上げる



湾曲した両手の指先を胸に向け、交互に上下に動かす

原文… ^{あ み だ にょらい ほん がん} 阿弥陀如来の本願は

表現…



光



仏



約束



何



必ず



救



う



任せろ



意味

動作…

つぼめた手をひらく

阿弥陀仏の印

両手の小指を曲げて上下にからませる

右手人差指を立て、左右に振る

両手の小指を曲げて上下にからませる

右手を左手親指の甲側から小指側へ回し、左手を押し上げる

右手の5指を折り曲げて右肩にのせる

左手掌の下を右手人差指でくぐらせて前へ出す

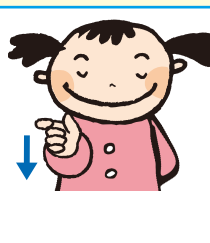
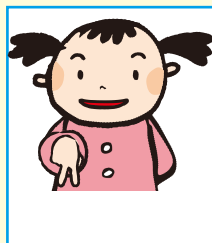
(※6頁①参照)

(※6頁②参照)

目線を下
(※6頁③参照)

原文… ^{な も あ み だ ぶつ な} 南無阿弥陀仏のみ名となり

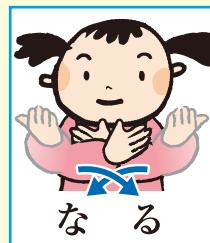
表現…



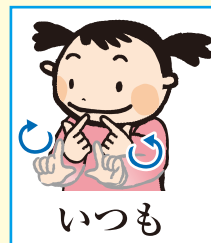
南無阿弥陀仏



名前



なる



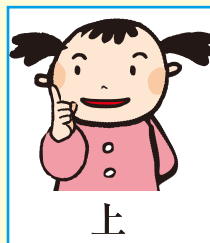
いつも



私



呼びかけられる



上

動作…

指文字で (ナ・モ) + 人差指と親指を上から下へおろす

右手2指の輪を左胸にあてる

掌を上に向けた両手を左右から引き寄せて交差させる

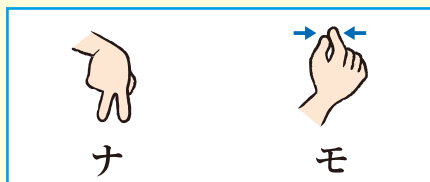
直角に伸ばした両手2指を向き合わせ、後周りに回す

右手人差指で顔をさす

ひたい前で右手4指を曲げて呼ばれるしぐさをする

右手人差指で上をさす

指文字…



ナ

モ

(※6頁④参照)

原文… ^{わたし} たえず私によびかけます

(V)

(※6頁⑤参照)

※(V) は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。

原文… このよび^{ごえ}声^きを聞きひらき

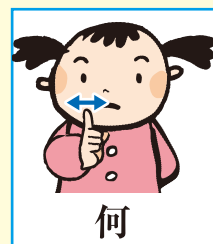
表現…



呼びかけられる



意味



何



知る



仏



救い



任す



時

動作…

ひたい前で右手4指を曲げて呼ばれるしぐさをする

左手掌の下を右手人差指でくぐらせて前へ出す

右手人差指を立て、左右に振る

右手掌で胸をなで下ろす

阿弥陀仏の印

右手を左手親指の甲側から小指側へ回し入れ、左手を押し上げる

両手の5指を折り曲げて右肩にのせた両手を前方に出す

左手掌に右手親指をあてて人差指を下へ半回転させる

(※6頁⑤参照)

(※6頁⑥参照)

原文… 永遠^{とわ}に消え^きない灯火^{ともしび}が

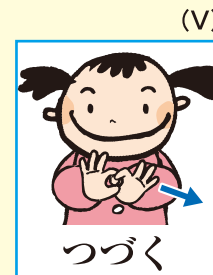
表現…



将来



灯火



つづく

わたし^{わたし}の心^{こころ}にともります



私



心



同じ

動作…

顔の横に掌を前に向けて立てた右手を前方に出す

丸めた左手の上に立てて丸めた右手をのせ指の開閉を繰り返す

両手2指の輪をつなぎ合わせ、ゆっくり前を出す

右手人差指で顔をさす

胸に右手人差指の指先をあて回す

両手2指を上に向けて左右に並べ、同時に指の開閉を繰り返す

※(V) は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。

原文… によらい だい ひ い 如来の大悲に生かされて

表現…



動作…

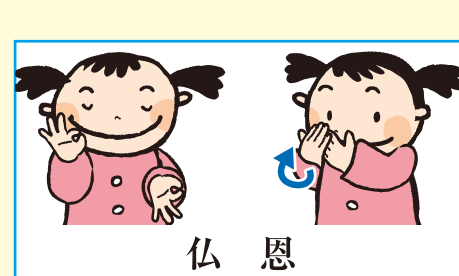
阿弥陀仏の印

両手掌を上に向けて腹からあおるように上げる動作を繰り返す

膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を水平に回す

立てた左手親指の甲側を右手掌で手前へ2回たたきながら胸によせる

ご おん ほう しゃ 御恩報謝のよろこびに



阿弥陀仏の印をし、手の甲を外側に向け、上の方で膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を回す

左手甲に小指側を直角にのせた右手を上げながら頭を下げる

湾曲した両手の指先を胸に向け、交互に上下に動かす

(※6頁⑦参照)

原文… な も あ み だ ぶつ と な 南無阿弥陀仏を称えつつ

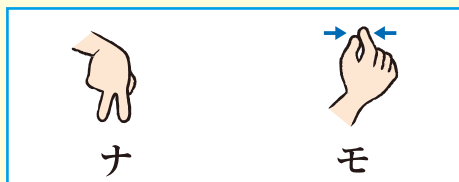
表現…



動作…

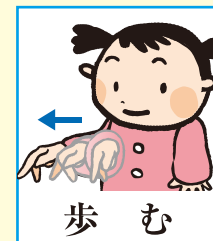
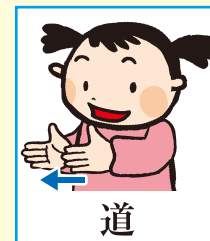
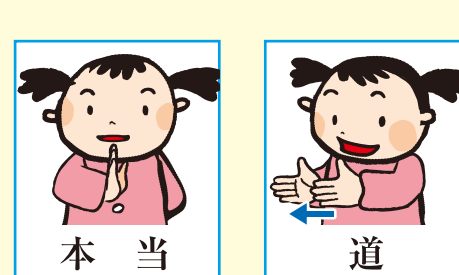
指文字で (ナ・モ) + 人差指と親指を上から下へおろす

指文字…



(※6頁④参照)

まこと みち あゆ 真実の道を歩みます



左手の平を拝むように立て、右手人差指を口元から2回前に打ち出す

立てた右手の人差指側を顎にあてる

両手の指を前に向け、掌を向かい合わせて同時に前へ出す

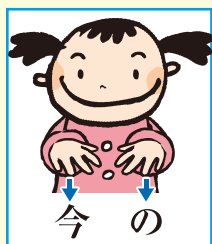
右手2指を下に向け、指を交互に出しながら前へ進める

※(V) は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。

原文… この世の縁の尽きるとき

表現…

動作…



今 の



人 生



終わる



時

如来の浄土に生まれては

表現…

動作…



仏



世 界



往 く

左右に置いた両手を軽く押さえるように同時に下ろす

右手甲を前に向け、親指と小指を立てて胸の前で円を描く

指を上に向けて開いた両手を同時に下ろしながら5指を閉じる

左手掌に右手親指をあてて人差指を下へ半回転させる

阿弥陀仏の印

丸めた両手の5指を向かい合わせ、前方に半回転させる

手の甲を前に向け、右手人差指を立てて斜め上へ出す

(※6頁⑧参照)

原文… さとりの智慧をいただいて

表現…

動作…



さとり



いただく

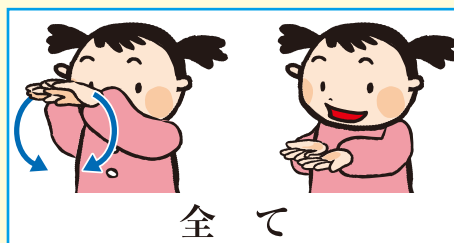
目をおった両手を同時に外側へひらく

掌を上に向け揃えて出した両手を手前に引きよせる

あらゆるいのちを救います

表現…

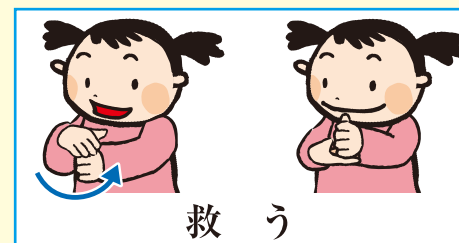
動作…



全 て



いのち



救 う

両手親指側をつけ、半円を描いて下ろし小指側をつける

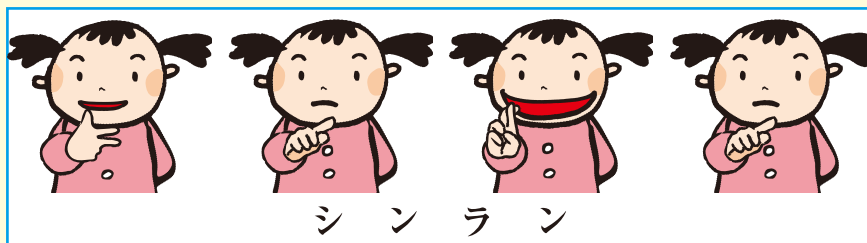
右拳を左胸にあてる

右手を左手親指の甲側から小指側へ回し入れ、左手を押し上げる

※(V) は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。

原文… しゅうそ しんらんしょうにん
宗祖親鸞聖人が

表現…

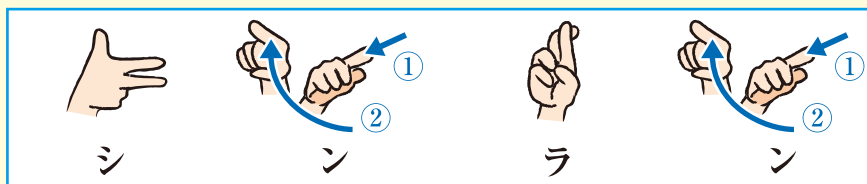


シ シ ラ シ

動作…

指文字で (シ・ン・ラ・ン)+ 尊い人 (左手掌に親指を立てた右手をのせ、少し上へあげる)

指文字…



シ

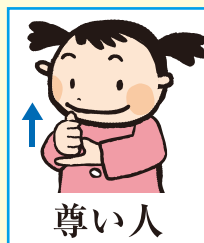
ン

ラ

ン

によらい まこと しめ
如来の真実を示された

(V)



尊い人

(V)



仏



本 当



表 す

阿弥陀仏の印

立てた右手の人差指側を顎にあてる

左手掌に右人差指先をつけ前に出す

原文… じょうど しんしゅう おし
浄土真宗のみ教えを

表現…



きれいな



場 所



本 当



合 掌



教 え

(V)

とも ひろ
共によろこび広めます



みんな



一 緒



よろこび



広める

動作…

左手掌を右手掌でなでながら素早く右方向へ動かす

やや右上で

立てた右手の人差指側を顎にあてる

胸の前で両手を合わせる

右手人差指を顔の前で前方斜め下へ2回振る

右手掌を下に向けて水平に半円を描く

指先を前に向けた両手人差指を左右から引き寄せてつける

湾曲した両手の指先を胸に向け、交互に上下に動かす

甲を上にして両手をつけ、指を広げながら左右斜め前へ同時に出す

※(V) は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。

「浄土真宗の救いのよろこび」手話表現説明

1 原文… 阿弥陀如来(1頁) 表現… 「光」「仏」

【説明】…阿弥陀如来は、「不可思議光如来」や「無礙光(むげこう)如来」とも言います。阿弥陀如来は、迷いの私の闇を破ってくださり、摂(おさ)め取って必ず救ってくださる仏さまです。迷いを転じてさとらしめる智慧を、闇を破る光にたとえます。この光明はどのようなことがあろうとも、障(さまた)げられることはありません。これを、さわることもない光「無礙光」と言います。そのような如来のはたらきは、私たちには思いも及ばないので「不可思議光」とも言います。ですから、阿弥陀如来のことを「光」「仏」と表現します。

2 原文… 本願(1頁) 表現… 「約束」

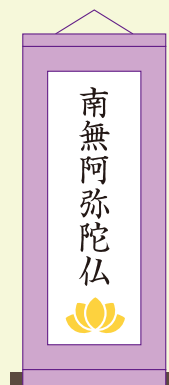
【説明】…阿弥陀如来は「あらゆる者を必ず救おう」という誓いをたてられました。これは単なる願望や希望ではありません。私を救うために必要な全ての功德を、阿弥陀如来が完成してくださいました。ですから「約束」として表現します。

3 原文… かならず救うまかせよと(1頁) 表現… 「必ず」「救う」「任(まか)せろ」

【説明】…浄土真宗は阿弥陀如来による救いです。手話では、目線を変えることで行為や発言の役割を切り替えることができます。これをロールシフト(役割変換)といいます。「かならず救うまかせよ」は阿弥陀如来が私たち一人ひとりにはたらきかけおっしゃることですので、阿弥陀如来の役割に切り替え、目線を下に向けて表現します。

4 原文… 南無阿弥陀仏(1頁、3頁) 表現… 「南無阿弥陀仏」

【説明】…浄土真宗のご本尊は、阿弥陀如来です。この如来は、さとりそのものが解らない私たちのために、形を表し、「南無阿弥陀仏」という、み名を示してくださっている仏さまです。ですから、阿弥陀如来の姿を表す木像・絵像をご本尊とすることはもちろんのこと、「南無阿弥陀仏」という名号をご本尊とします。手話では、「ナ」「モ」と指文字で表したあと、名号のご本尊を模(かたど)って人差指と親指を上から下へおろして表現します。



5 原文… よびかけます(1頁)、よび声(2頁) 表現… 「呼びかけられる」

【説明】…「南無阿弥陀仏」は、阿弥陀如来のよびかけです。南無は任せるという意味ですが、私たちが阿弥陀仏に任せる前に、阿弥陀如来が「必ず救う、この阿弥陀如来に任せよ」と命じてくださっているのです。阿弥陀如来のよびかけとは、阿弥陀如来がこの私を救おうと、はたらきかけてくださっていることを意味しています。ですから「呼びかけられる」と表現します。

6 原文… まかす(2頁) 表現… 「任す」

【説明】…浄土真宗の信心は、阿弥陀如来の救いに疑い無い心です。阿弥陀如来の「まかせよ、必ず救う」というはたらきかけが届き、疑いなく聞き受け、間違いなく救ってくださる阿弥陀如来の救いにお任せしていることです。親鸞聖人は信心とは「憑(ひょう)」の字をもちいて「たのむ」こととおっしゃいます。こちらから依頼する「頼む」ではなく、信憑性(しんぴょうせい)があるから全てをおまかせする「憑(たの)む」というように言われます。ですから、信心とは、この私のことを、すべて阿弥陀如来に「たのみ、まかせる」という意味で「任す」と表現します。

7 原文… 御恩(3頁) 表現… 「仏恩(ぶつとん)」

【説明】…浄土真宗における「御恩」は、究めて言えば、阿弥陀如来の救いのことです。これを仏の恩「仏恩」といいます。阿弥陀如来は、どのような者も必ず救うと誓いをたてられました。それはあらゆる者を救おうという平等の慈悲の心によるものです。ですから、仏恩は阿弥陀如来の慈悲の心を頂戴することですので「阿弥陀仏」「恩」と表現します。

8 原文… 如来の浄土(4頁) 表現… 「仏」「世界」

【説明】…浄土はこの私に、さとりを開かせ、仏と成らせる世界です。阿弥陀如来が「あらゆる者を、必ずこの上ないさとりの仏に成らしめよう」と誓われた本願に報(むく)いた世界です。単に死後の世界というだけではなく、あらゆる者をさとらしめようとはたらきかけている世界です。そのはたらきかけが人格的な表現をとれば「仏」となり、空間的な表現をとれば「浄土」となるのです。ですから浄土を「仏」「世界」と表現します。

「浄土真宗の救いのよろこび」解説

「浄土真宗の救いのよろこび」は「浄土真宗のみ教えを現代の人々に親しみやすい表現によって示し、正しく領解^{りょうげ}した上で味わいを深めることのできる文章」としてつくられました。

『拝読 浄土真宗のみ教え』に掲載され親しまれています。

阿弥陀如来の救いを明らかに受け取り、そのよろこびを深めることのできる文章です。

自ら拝読し拝聴することで、浄土真宗の救いのよろこびが深まっていくことでしょう。



発行：浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会
編集：手話表現研究専門部会
出典：『拝読 浄土真宗のみ教え』
（本願寺出版社 発行）
参考：わたしたちの手話学習辞典
（財団法人 全日本ろうあ連盟出版局）
手話で表す仏教用語
（浄土真宗本願寺派 社会部）

